

開催報告：全学FD「3つのポリシーの策定の意義と一貫性構築手法」

5月22日(月)、地域イノベーションホールにおいて、全学FD「3つのポリシーの策定の意義と一貫性構築手法」が開催され、学内外から約50名の参加がありました。

本講演は、医学系研究科・医学部と地域人材教育開発機構の共催により、現在進められている3つのポリシーの見直しのプロセスを本学が学生や地域社会にとってのよりよい大学教育とは何かについて、大学全体で共同で考える契機としたいとの思いから、そもそも3つのポリシーとは何か、を原点に立ち返り学ぶために企画されました。



大阪大学全学教育推進機構の佐藤浩章准教授による講演

地域人材教育開発機構山本裕子が司会を務め、医学系研究科副研究科長・医学部副学部長の山崎英俊教授から開会挨拶がありました。

佐藤浩章准教授(大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部)のご講演では、以下の7点について、ワークと質疑応答を交えながら、具体的にお話いただきました。

- 1) 3つのポリシーの策定と一貫性構築の意義
- 2) 3つのポリシー策定の5つのステップ
- 3) 目指すべき人材像のチェックポイントと書き直し
- 4) DP(ディプロマポリシー)のチェックポイントと書き直し
- 5) AP(アドミッションポリシー)のチェックポイントと書き直し
- 6) CP(カリキュラムポリシー)のチェックポイントと書き直し
- 7) カリキュラムの評価手法のチェックポイントと書き直し

最後に、山本俊彦地域人材教育開発機構長(理事(教育担当))から閉会挨拶があり、本学における、育成すべき人材像及び3つのポリシーの見直しとアセスメントポリシーの設定に向けて、その意義や具体的設定方法を理解できる、非常に有意義なセミナーとなりました。

(アクティブラーニング・教育開発部門 山本裕子)

全学FD「授業デザインとアクティブラーニング」を開催(4/10,9/4)

4月10日(月)、環境・情報科学館3階PBL演習室において、全学FD(主に新任教員向け)「授業デザインとアクティブラーニング」が開催されました。

本ワークショップでは、「大学の授業とは何か?」「シラバスとは何か?」を考え、授業の目的と到達目標の書き方を確認した上で、アクティブラーニング(AL)が大学教育でより重視されるようになった背景やその定義、及び授業をALにする考え方を学び、いくつかのALの手法を実際に行いました。

参加者は教員約20名で、本学の学生のよりよい学びのために、教員が一つになって考え、実践する姿が印象的でした。参加者の積極的な学びの姿勢のもと、大変実りの多いグループワークとプレゼンテーションの場が生まれていました。大学教育の更なる向上のため、多くの先生方が非常に熱心に参加されていました。本研修会が盛会のうちに終了しましたこと、ご参加の皆様にご心よりお礼申し上げます。



4/10(day1)の様子



9/4(day2)の様子

9月4日(月)、地域イノベーション研究開発拠点D棟3Fアクティブラーニングスタジオにおいて、全学FD「授業デザインとアクティブラーニング」day2が開催されました。参加者は教員約8名で、グループワーク手法(ジグソー法)をグループに分かれて体験的に学びました。今回の学習テーマは「本学が育成すべき人材像とその要素」で、ご参加の先生方が、三重大学ならではの教育や本学の特色について、真剣に語り合って議論され、本学の未来の教育のあるべき姿が見えてきたような、とても充実した機会となりました。ありがとうございました。(アクティブラーニング・教育開発部門 山本裕子)

大学におけるラーニングコモンズの現状と課題（6/2）

6月2日（金）に、パリ・デジタル大学の副所長であり、2017年6月まで京都大学の招聘研究者として日本に滞在していたジョン・オージェリ(John Augeri)氏をお迎えして、全学FD/附属図書館SD「大学におけるラーニングコモンズの現状と課題に関するセミナー」を開催しました。附属図書館と地域人材教育開発機構による共同開催で、教員、図書館員を含む職員、学生など32名の参加がありました。

最初に、附属図書館長である加納哲理事が開会の挨拶として、生物化学分野の例を交えたアクティブラーニングやラーニングコモンズについての見解とセミナーへの期待を述べました。

次に、オージェリ先生から、多くの国々で実施した学習空間の調査をもとに、高等教育におけるアクティブラーニング型の学習空間の動向や特徴について説明がありました。こうした新しい学習空間が近年に設置されるようになった理由のひとつに、電子コンテンツの普及にとともに、仮想的空間と物理的空間のバランスを再検討する必要性が生じてきたことがあります。その中で、新しい学習空間のプロジェクトには、執行部、教員、ICTの専門職員や図書館員、学生を含む大学の多様な関係者が携わること、美しい空間をつくることではなく学生の学習成果を向上させることに重点を置いて設計することの必要性を示して下さいました。また、近年、学習空間にPCを備え付けるのではなく、利用者が自分の機器を持ち込んで利用するBYOD(bring your own device)に移行しているという説明がありました。利用者が多様な機器を持ち込むために、運営側の対応は難しくなります。授業でも、学生一人ひとりの機器やソフトウェアが異なるために、クラウド・ベースのソフトウェアをダウンロードできるようにするなどの対応が求められるということです。



パリ・デジタル大学副所長のジョン・オージェリ氏による講演

参加者と交流しながら軽妙にご説明くださり、会場は終始、楽しい空気に包まれていました。学生も英語で積極的に質問をしたり、正路真一先生と和気尚美先生が英語や日本語でのコミュニケーションを補助して下さいました。三重大学では、2018年度から、全学規模のPCの必携化、附属図書館や環境・情報科学館での学生スタッフによる学習支援サービスの提供が始まります。参加者一同、このセミナーから、多くの知見を得ることができました。
(大学図書館・学習支援部門 長澤多代)

田村雅文講演会（8/4） 「さあ、シリアの話しよう！」

8月4日（金）に、シリア支援団体「サダーカ」代表の田村雅文さんを招いて講演会を開きました。田村さんは三重県出身で、2003年に三重大学生物資源学部を卒業された後、2005年から2007年まで青年海外協力隊の一員としてシリアに赴任されました。その後2011年に始まるシリア内戦が激化する中、田村さんは2012年にJICA職員として働くとともに「サダーカ」を設立され、今日まで活動を続けておられます。



シリア支援団体「サダーカ」代表の田村雅文氏による講演

講演では、シリアの人々の暮らし、内戦にかかる苦難、難民の人々の思いなどについて話していただき、シリアの現実を知る貴重な機会となりました。田村さんの活動を後方支援する津市在住の林一章さんにも来ていただき、三重県にいながらでも国際的な支援活動に参加できることを教えていただきました。



会場の様子

本会は、日本に住む私たちが世界で起こっている出来事を知ること、また国際的な問題に対して何ができるのかを考える機会を設けることを目的として開催されました。当日は学外、学内からたくさんの方に来ていただき、またNHKや毎日新聞も取材に来られました。今後も、国際的に活躍されている方々の講演会を開催することを予定しています。

(グローバル人材教育開発部門 正路真一)

県内高等教育機関、企業・団体、自治体が連携した三重創生ファンタジスタの養成

地域人材教育開発機構地域創発部門では、地域で活躍する人材である「三重創生ファンタジスタ」を養成するため、県内高等教育機関、企業・団体、自治体と連携して様々な取り組みを行っています。平成29年4月には、入学したばかりの学生を対象に、県内企業で活躍することへの意識を高めるため、県内企業の若手社員と対話する「Jobキャラバン」を開催しました。



Jobキャラバンの様子

三重大学会場では学生34名が9社の若手社員と触れ合い、職業観を醸成する等、有意義な時間を過ごすことができました。また、教養教育科目に位置づけた3つの集中講義では、各高等教育機関の教員が連携し、自高等教育機関の学生が他高等教育機関の学生と合同で受講できる授業を立ち上げました。これらの授業では、地域に入り込みフィールドワーク等を行うことを通して、地域に愛着を持った協調性の高い人材を養成しています。今後も三重創生ファンタジスタを養成するため、様々な取り組みを実施していきますので、ぜひご協力をお願いいたします。

(地域創発部門 永野聡)

平成29年度FD情報交換会

7/25(火)にH29年度第1回FD情報交換会を開催しました(参加者10名)。今年度の各部局のFD活動の実施内容と今後の予定について、情報共有と意見交換が行われました。



FD情報交換会の様子

各部局のFD活動を他部局でも希望すれば参加できるように、全学に開放していくようにする方向性が確認されました。また、本学のeラーニングに関する課題も共有され、学生や地域にとってより良いあり方は何かを考えるきっかけになりました。とてもアットホームな雰囲気でも、意見交換ができる貴重な機会となりました。次回の開催は10月頃を予定しております。

(アクティブラーニング・教育開発部門 山本裕子)

企業のエースが講師の「エースセミナー」(第1~4回)

三重大学の学生に県内の優良企業で働く魅力ややりがいを知ってもらうために、平成29年6月から「エースセミナー」を開催しています(12月までで計10回開催)。1回のセミナーにつき、2社のエース社員の方にお越し頂き、お話をうかがった後で、自由に質問ができる時間を設けています。6月~7月に開催した計4回のセミナーでは、以下の企業及び金融機関の社員様にお越し頂きました。

- ◆ 第1回エースセミナー(6/7)
株式会社百五銀行 北勢支社 野村 翔太氏
株式会社マスヤ 常務取締役 森 紀之氏
- ◆ 第2回エースセミナー(6/21)
株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム
ファーム運営部マネージャー 小松 浩也氏
株式会社ビーイング総務部総務課 鈴木 美咲氏
- ◆ 第3回エースセミナー(7/5)
北伊勢上野信用金庫 営業推進部 上市 菜千氏
株式会社おやつカンパニー 開発部 副奈 久晃氏
- ◆ 第4回エースセミナー(7/19)
株式会社三重電子計算センター
管理本部総務部人事課主任 前村 敦史氏
御木本製薬株式会社
研究開発担当取締役 前山 薫氏

いずれの回においても、参加した学生は、熱心に耳を傾け、積極的に質問をしていました。後期のセミナーは10月から再開します。学生への周知等のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。※詳細は本号最終頁に掲載
(教学IR・教育評価開発部門 久保田祐歌)

全国大学教育研究センター等協議会に加盟

9/14(木)~9/15(金)に、徳島大学で開催された平成29年度全国大学教育研究センター等協議会の総会において、山本俊彦機構長が地域人材教育開発機構の概要を報告し、新たに加盟が承認されました。



山本俊彦地域人材教育開発機構長による報告

本会は、全国の諸大学が直面している様々な問題や課題を解明し、大学改革と再建に貢献する活動を行うために、平成8年(1996年)4月に設立されたものです(事務局は広島大学高等教育研究開発センター)。加盟によって、他大学との情報交換の活発化が期待されます。

全学FD(10/2)

- ◆平成29年度三重大学全学FD
「アクティブラーニングの効果とその検証」
- 日時:2017年10月2日(月)13:30-16:00
- 場所:三重大学 地域イノベーションホール(地域イノベーション研究開発拠点 C棟3F)
- 対象:三重大学教職員、学生、一般
- プログラム:
 - 13:30-13:35 開会挨拶 荻田 修一(地域人材教育開発機構副機構長)
 - 13:35-15:05 講演 溝上 慎一氏
(京都大学高等教育研究開発推進センター教授、教育アセスメント室長)
 - 15:05-15:15 休憩(10分)
 - 15:15-15:55 質疑応答/ディスカッション(40分)
 - 15:55-16:00 閉会挨拶 山本 俊彦(地域人材教育開発機構長)
- 主催:三重大学地域人材教育開発機構
- 申込み期日:9月25日(月)正午

全学FD・SD(11/20)

- ◆平成29年度 全学FD・SD
「大学アイデンティティの共有と教員・職員の役割
—自校教育の体験をふまえながら—」
- 日時:2017年2017年11月20日(月)15:00-17:00
- 場所:地域イノベーションホール(地域イノベーション研究開発拠点 C棟3F)
- 対象:本学教職員、一般
- 概要:講師に東京大学・桜美林大学・立教大学名誉教授の寺崎昌男先生をお迎えし、自校教育をされてきたご経験から、大学のアイデンティティと教職員の役割についてご講演いただきます。
- 主催:三重大学地域人材教育開発機構
- 申込み期日:11月13日(月)
- 【全学FD、FD・SD申込み方法】各会の申込み期日までに、①お名前、②ご所属、③連絡先を明記の上、地域人材教育開発機構(chiikijinzei@ab.mie-u.ac.jp)へメールでお申し込み下さい。

「エースセミナー」(第5~6回)

学生を参加対象とする2017年度エースセミナー(後期)を以下のとおり開催します。学生への周知について、ご協力の程よろしくお願いたします。なお、第7回以降については、地域人材教育開発機構ウェブページ(<http://www.dhier.mie-u.ac.jp/news-events/>)で順次ご案内します。

- ◆2017年度エースセミナー(第5回)
 - 日時:10月4日(水) 12:05-12:50
 - 場所:環境・情報科学館 3F PBL演習室5・6
 - 講演者:日本トランスシティ株式会社
総務部 部長補佐 横井 直樹 氏
ヤマモリ株式会社
取締役執行役員 管理本部長 三林 圭介 氏
- ◆2017年度エースセミナー(第6回)
 - 日時:10月18日(水) 12:05-12:50
 - 場所:環境・情報科学館 1F ホール
 - 講演者:九鬼産業株式会社 総務部 水谷 祐輔 氏
株式会社安永 CE事業部 マーケティング部
事業企画グループ 長谷 浩一 氏
 - ※ 事前申込は不要です。

『三重大学高等教育研究第24号』原稿募集

論文誌『三重大学高等教育研究 第24号』(旧 大学教育研究:三重大学授業研究交流誌)の執筆原稿を募集しています。

本誌は平成5年創刊以来、大学教育における教育方法・教育内容、および教育実践に関する論文の発表とその共有という目的を継承し、さらに昨年平成28年度より、大学教育を基盤とした社会貢献、地方創生、大学発ベンチャーなどの教育研究のイノベーションなど、多様な高等教育に関する教育実践論文を広く学内外に向けて募集しています。

本年度も執筆原稿を募集いたしますので、下記の要領にて奮ってご投稿くださいますよう、よろしくお願いたします。

- 投稿内容:投稿原稿は以下の2種類です。
 - 1)論文 A4判8-12枚以内 ※筆頭著者として、
 - 2)ショートレター A4判4枚以内 どちらか1編のみ投稿可
- 応募締切:2017/10/2
- 原稿締切:2017/10/30
- 原稿提出先:地域人材教育開発機構 論文誌編集委員会宛(chiikijinzei@ab.mie-u.ac.jp)までメール添付
- 執筆要綱:「編集・執筆要項」等の詳細は地域人材教育開発機構webサイト(URL:<http://www.dhier.mie-u.ac.jp/publications/>)にてご確認ください。
- 発行予定:平成30年3月末

編集後記

本号は、地域人材教育開発機構が主催・共催した、2017年4月から9月までの全学FD、セミナー等の開催報告(実施部門が執筆を担当)及び10月以降に開催予定の全学FD、セミナー等の案内を中心に構成しています。

地域人材教育開発機構が「全国大学教育研究センター等協議会」に加盟しました。大学教育の質向上に向けた取組を進める上で、他大学の大教センターとの交流を意義あるものにてできればと思います。(久保田祐歌)

NEWS LETTER vol.49 2017年9月19日発行

国立大学法人三重大学 地域人材教育開発機構
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-5615 FAX:059-231-2354
E-MAIL:chiikijinzei@ab.mie-u.ac.jp
<http://www.dhier.mie-u.ac.jp/>